

令和8年第2回当別町議会定例会一般質問通告一覧

令和8年6月定例会

順序	議員名	要 旨
1 番	佐々木常子 (資料有り)	<p>1 オムツリサイクルについて 【質問のねらい】 ごみ削減のためオムツリサイクルを 【質問項目】 (1) 環境のためにもごみ削減のためオムツリサイクルの取り組みは有効だと思いが、考えを伺う。</p> <p>2 町営住宅について 【質問のねらい】 町営住宅の空きを待っている方々が多くいるが、少しでも早く入居できるようにできないか。 【質問項目】 (1) 町営住宅としてマンションを借り上げするという取り組みの進捗状況を伺う。 (2) 春日団地の1階の申し込み者は常時30人ほどいると聞いたが、大学移転前でも早めに入居することは出来ないか、伺う。</p> <p>3 生命の安全教育について 【質問のねらい】 自分の人生を守っていく、心と体を守る教育は必要であり、重要である。 【質問項目】 (1) 性犯罪・性被害の増加の現状を踏まえ、当別町の認識と考えを伺う。 (2) AIの普及などによる子どもたちを取り巻く環境の変化について考えを伺う。 (3) 「生命の安全教育」の取り組みについて考えを伺う。 (4) 一貫校の取り組みとして先例地を参考にしては、考えを伺う。</p>

2 番	芳形 幸夫	<p>1 町内にある医療機関への支援について</p> <p>【質問のねらい】 町内の病院経営は、非常に厳しい状況であるという声が寄せられている。町独自の支援対策の取組みを質す。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 昨年 1 1 月、日本病院会他 7 団体が厚生労働省へ病院経営を取り巻く危機的状況を解消するために 5 項目の要望を出している。町内の医療機関においても、同様に厳しい運営状況と聞くが町はこの状況をどのように捉えているか伺う。</p> <p>(2) 町としてこれまでも独自の支援を行ってきたが、今後も厳しい運営が続く町内の医療機関に新たな支援策を講じる事が必要と考えるが町の見解を伺う。</p> <p>2 当別町公共施設等総合管理計画について</p> <p>【質問のねらい】 老朽化が進む公共施設等について総合管理計画が示されたが、今後の取組みについて町の見解を質す。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 町は現在の公共施設等の状況について、どのような認識を持っているのか見解を伺う。</p> <p>(2) 人口減少や利用者数の観点から、今後の公共施設等の維持管理において特に課題となる公共施設等について見解を伺う。</p> <p>(3) この管理計画では、解体、譲渡、売却、統廃合等も示されているが、今後どのような考え方に基づいて計画を展開するのか伺う。</p> <p>(4) 本計画策定にあたり、町民の声や意見聴取はどのように行われたか伺う。</p> <p>(5) 総合管理計画の 1 の (2) 当初計画の成果のなかに「コンパクトなまちづくりを進める事で・・・」等と書かれているが、コンパクトなまちづくりについてあらためてどのような考えか伺う。</p>
-----	-------	---

3 番	五十嵐信子	<p>1 高齢者の肺炎予防対策について</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>高齢化が進む中、肺炎の重症化予防は、健康寿命の延伸や医療費抑制の観点からも重要な課題である。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 現在実施している、高齢者への肺炎球菌、インフルエンザ、新型コロナの各種ワクチンに関する対象者数や公費助成の内容、接種率状況について伺う。また未接種者の傾向や、接種控えの要因についてどのように分析しているか伺う。</p> <p>(2) 高齢者におけるRSウイルス感染症は、インフルエンザ等と同様に重症化するリスクが高いとされているが、どのように認識しているのか。また医療機関との情報共有や接種状況の把握など行っているのか伺う。</p> <p>(3) RSウイルス感染症について、町民への情報提供や周知、医療機関や高齢者施設との連携、さらには高齢者の経済的負担軽減策も含めどのように取り組んでいく考えか見解を伺う。</p> <p>2 花とスウェーデン姉妹都市交流を活かしたまちづくりについて</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>当別町は道内有数の花卉生産地でありながら、その魅力を残念ながら町民に十分認知されていない。来年は姉妹都市交流40周年。当別ならではの地域資源を活かす好機と考える。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 「花のまち当別」としてのブランド向上と町内外への効果的な魅力・情報発信について町長の考えを伺う。</p> <p>(2) 姉妹都市交流40周年、長きにわたり築いてきた歴史を更に町民参加型の記念行事へと発展させていく考えはあるか伺う。</p> <p>(3) スウェーデン大通を「花ロード」として整備し、花とスウェーデンの象徴的な景観づくりを進めてはいかがか。</p>
-----	-------	--

4 番	角田 広佑 (資料有り)	<p>1 公務員兼業に対する町の方針</p> <p>【質問のねらい】 公務員の兼業を容認する自治体が増えている。町における公務員副業に対する考え方と方針について質す。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 先行事例では許可基準等を制定し弾力的に運用している自治体が複数存在している。当別町における公務員兼業について、どのように運用しているかを伺う。</p> <p>(2) 現在、地域部活動における指導員を募集、登録している状況にある。町職員もこの登録制度に応募する場合は、容認する考えか。</p> <p>2 パソコン端末更新時処分方法について</p> <p>【質問のねらい】 町、学校で所有するパソコン端末の更新において、データ消去等のセキュリティ対策の取扱いについて質す。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 町が所有しているパソコン端末や記憶媒体の更新のサイクルと処理方法、完了報告の確認方法はどのように行っているか。</p> <p>(2) 今年度、小中学生の端末も更新されたが、端末の処理方法、完了報告の確認方法はどのように行っているか。</p>
-----	-----------------	---

5 番	山崎 公司	<p>1 緊急シェルターの確保</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>政府は、武力攻撃を受けた際に住民が避難するシェルター『緊急一時避難施設』を確保するよう、全国の市町村に求めている。ミサイルの爆風や破片からの防護を1～2時間ほどの身を守るのが目的です。2030年までに全国の市町村で人口カバー率100%を目指すとなっている。安全性がより高いとされている地下シェルターの確保が課題となる。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 当別町が今すぐ取り組む行政対応として町内の既存施設の堅牢性調査を即時実施が必要。候補となるのは、役場庁舎、小中学校・高校・両コミセンの公共施設等、まずは『どこが指定可能か』を洗い出す事が最優先と考えるが町の見解を伺う。</p> <p>(2) 公共施設の建て替え、改修時に『地下化』を標準化・コストの最適化・国も補助金活用、町民の理解促進が必要と考えるが、町の見解を伺う。</p> <p>(3) 町民への避難行動の周知、訓練の強化が必要。Jアラート発報時の行動対策、避難先の明確化、高齢者・障害者の避難支援計画をセットで整備する必要がある。町の見解を伺う。</p> <p>(4) 広域避難計画の策定が必要。武力攻撃が長期化する場合、石狩振興局・近隣自治体との連携し、受け入れ先、輸送手段を確保する必要がある。町の見解を伺う。</p> <p>(5) 踏み込んだ議論として、『公共施設の再配置』と『緊急一時避難施設』の整備を一時的に進める絶好のタイミングである。当別町のどの施設を優先すべきか。地下化に適した候補地や施設の選定が必要と考えるが町の見解を伺う。</p> <p>2 ふれあいバスの運賃の見直しと運行ルート再編について</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>北海道医療大学が、2028年4月に北広島に移転する。すでに2年を切っている。多くの分野で、過大な経済損失が想定されている。その中で町民の足としてのバス運行について早急に方向性を新たな総合戦略に盛り込むことが重要と考える。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 北海道医療大学移転によるバス利用者は確実に減少となる。具体的に学生の利用減少をどのように想定しているか。伺う。</p> <p>(2) 200円均一運賃は、人口減少・利用者減の中では持続可能性が低いと考えられる。早急に運賃を見直すべきと考えるが伺う。</p> <p>(3) 運行ルートの再編について、医療大学中心から町民生活中心への転換が必要と思うが、伺う。</p>
-----	-------	---

6 番	秋場 信一	<p>1 物価高支援 8 千ポイント付与事業の評価と今後の方向性について</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>町民生活の支援と地域経済の活性化を目的とした施策であると理解している。一方、利用可能店舗の限定や事業者間の公平性など様々な意見も寄せられている。事業の現状と今後について検証したい。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 過去に実施した商品券方式やスマホ決済方式など、他の手法との比較検討は行ったのか。</p> <p>(2) とうべつエゾカ運用上の課題や改善点はないのか。</p> <p>(3) 毎年商工会主催のサマーセール参加店は約 1 2 0 事業所が参加し、そのうち 8 0 店舗以上が本事業の対象外である。この事業との連携の必要性などはどう捉えているか。</p> <p>2 本事業が物価高と経済対策としたことの意義について</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>地域の判断で活用方法を定めることができる補助金を活用していることから、側面として町の活性化も睨んだ施策と捉える。ポイント会加入促進対策を併せて実施する事で、波及効果が高まるのではないか。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 重点支援金の今後において同様の取り組みとしていくのか。</p> <p>(2) サツドラからの寄付金の使途について現状のまま進めていくのか。</p> <p>(3) エゾカに加入しない町民にはどのように対処していくのか。</p>
-----	-------	---

【計 6 人、3 時間 0 0 分（1 人 3 0 分計算）】